



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

3月15日号（304号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

原発事故から15年 全村避難を経験した福島県川内村 遠藤雄幸村長の思い

15日（日）＝1、3面



迫る

川内村は原発から20キロ圏内とそれ以外に線引きされ、住民への損害賠償額が異なったために、住民の「分断」が起きてしまいました。「あつちの家」のほうがたくさんもらっている。全員が避難したにもかかわらず、です。遠藤さんはいち早く帰村宣言を行い、ユニークな村にするために尽力します。医療機関や学校だけでなく、マラソン大会やワインづくりなど、魅力ある村にしようとして奔走。分断を乗り越えた15年を語ってくれました。

東日本大震災から15年がたち、原発事故で避難を余儀なくされた自治体のうち、今もその職にあるのは福島県川内村の遠藤雄幸村長。写真Ⅱだけになりました。



大阪松竹座閉館

18日（水）＝オピニオン面

論点

新喜劇やO
SK日本歌
劇団のホー
ムグラウン
ドとしても

食い倒れの街として知られる大阪・ミナミの道頓堀には、芝居町としての顔もあります。歴史は米ブロードウェイよりも長く、最初の芝居小屋ができてから今年でちょうど400年。ところが、伝統を受け継いできた劇場・大阪松竹座Ⅱ写真Ⅱが5月に閉館することになり、芝居町の灯が消えかかっています。

上方歌舞伎をはじめ、松竹



親しまれてきた「最後の大劇場」の閉館は、大阪の街と文化にどんな影響をもたらすのでしょうか。上方文化に詳しい識者や舞台人に話を聞きました。

長生炭鉱での遺骨収容

15日（日）＝総合面



故が起き、朝鮮半島出身者を含む183人が亡くなりました。犠牲者の遺骨は現場に残されたままで、市民団体が収容に向けた調査に乗り出しています。

昨年8月と今年2月には人の頭蓋骨などが収容され、1月の日韓首脳会談で両国は身元を特定するためのDNA型鑑定を協力して進めることで

戦時中の1
942年、山
口県宇部市の
海底炭鉱「長
生炭鉱」で大
規模な水没事

長生炭鉱の潜水調査で、遺骨とみられるものが見つかったとの知らせに喜ぶ事故の遺族たち



一致しました。事故から80年余りを経て、なぜ事態が動き始めたのか、解説します。